

質疑要旨 来年度、この事業を行わなかった場合、進捗状況はどうなるのか。

答弁要旨

これまで議会から「今後の市場のあり方」を早期に検討し、卸売市場の老朽化対策を進める必要があるとのご指摘がありました中、事業費の確保が最大の課題であることから、民間の資本やノウハウを活用して、その縮減を図ることが重要であると考えております。

来年度は、コンサル業者へ業務を委託し、具体の民間資本などの活用方法について、その条件を調整、検討し、事業手法や契約手法のほか、整備事業の概要を検討する予定でございます。

これは、市場や市にとって効果的で、有利な手法を選定するために、また、「今後の市場のあり方」の検討を進め、喫緊の課題であります冷蔵庫棟を含みます市場施設の老朽化等に係る対策を実施することにおきましても、必要かつ重要な事業でございます。

(次ページへ続く)

また、その事業手法等の検討を進めるためには、並行しまして、市場関係者の事業継続意向や使用する市場機能などを調査し、^{現在地での集約整備}にかかる市場規模等を検討するほか、民間資本等に係る条件などについて市場関係者と調整を行う必要があり、その業務を本市職員が担う予定でございます。

したがって、来年度予定の事業を実施しなかった場合は、業務委託の成果と本市職員の成果を合わせ、事業手法等を検討することができなくなるため、総合的な判断に支障をきたし、「今後の市場のあり方」検討の進捗に影響を及ぼすことになると考えます。

以上

辻議員 1002

作成部局 経済環境局 No.1

質疑要旨 この事業を行わなかった場合、次年度は、何もできないことになるのか。

答弁要旨

先ほど、ご答弁申し上げましたとおり、来年度、市場関係者の意向調査等は進めることができますが、市場規模等の総合的な判断に支障をきたすこととなります。

以上

質疑要旨 老朽危険空家のうち、所有者を確知しているものと所有者不明の戸数はいくらか。

答弁要旨

平成 27 年に市内全域を対象に空家の実態調査を実施した結果からは、老朽危険空家である B ランク、C ランクのものは 2,508 件ありました。

この調査では所有者の特定を行っていないため、その数は把握しておりませんが、これまでに市民からの相談を受けて、解体などによって解決されたものを除いた 213 件については、所有者を特定しているものが 85 件、所有者が不明のものが 19 件、現在調査中のものが 109 件であります。

以上

質疑要旨 助言・指導、勧告、命令を行う目的と、所有者に与える影響はいかがか。

答弁要旨

老朽危険空家のうち、所有者がわかっている場合の取り組み方としては、「助言・指導」、「勧告」、「命令」の順に段階を経て行っており、まず所有者に助言・指導を行うことで、例えば相続によって空家を取得した事実を知らなかったや、遠方に居住しており危険箇所の状況を把握できていなかったなど、所有者が初めて問題に気付く場合が一定数あるため、解決につながります。

一方、こうした助言・指導を継続するものの、改善が行われない場合は、改善できない事情や、危険箇所の状況などを総合的に判断した上で、次に勧告を行います。

勧告を行うことで、住宅用地に対する固定資産税などの軽減措置を受けられなくなることから、土地と建物の所有者が同一である場合には、改善が一定期待できるものと考えております。

(次ページへ続く)

勧告後もなお改善が見られず、また、正当な理由もない場合には、最終的に命令することになります。命令された所有者は必ず、期限までに改善しなければならず、行わない場合は命令違反者として過料を科されるほか、市が行う行政代執行の費用請求を受けることとなります。

以上

質疑要旨 助言及び指導を継続し、積極的に勧告していない状況で、どうやって除却を進めるのか。

答弁要旨

先ほどもご答弁しましたとおり、土地と建物の所有者が同一である場合には、勧告を行うことで老朽危険空家等の除却や適正管理の促進が期待できることから、これまで5件の勧告を行っております。

一方で、経済的に困窮している所有者に対しては、勧告を行うことで除却補助が活用できなくなり、かえって除却が進まなくなることが考えられることから、勧告を行うのではなく、所有者に対して除却補助制度の活用や、専門家への相談を促すことにより解決に努めているところであります。

以上

質疑要旨 兵庫県を除却支援事業では勧告を行った空家を対象外としているが、拡充を求めるべきではないか。

答弁要旨

兵庫県を除却支援事業が勧告を行った空家にも拡充されれば、所有者が経済的に困窮している場合においても勧告による効果が期待できることから、県に対して、以前から制度拡充を要望しているところでございますが、引き続き、県へ求めてまいります。

以上

(白畑教育次長答弁)

辻議員 1007 作成部局 教育委員会 No.1

質疑要旨 聖火リレーの予算の具体的な内訳と財源について聞かせてほしい。

答弁要旨

聖火リレーの予算につきましては、聖火リレー実施に伴う警備やミニセレブレーション開催などの委託料及びスタート地点である記念公園陸上競技場などの会場の使用料であり、財源につきましては、一般財源でございます。

以上

(白畑教育次長答弁)

辻議員 1008

作成部局 教育委員会 No.1

質疑要旨 オリンピックのパブリックビューイングの組織
委員会への登録に向け準備している団体について、
どの程度把握しているのか。

答弁要旨

本市ゆかりのオリンピック応援事業として、パブリック
ビューイングの開催支援を予定しておりますが、現在の
ところ、本市出身の女子マラソン選手の前田穂南さん、
男子サッカー選手の堂安律さんを応援するためのパブ
リックビューイングの地元での開催の動きがあると聞いて
おります。

以上

(白畑教育次長答弁)

辻議員 1009

作成部局 教育委員会 No.1

質疑要旨 市の開催支援は補助金の支給だけでなく、
登録の手続きの相談や申請のサポートもやってもらえ
ると思うがどうか。

答弁要旨

パブリックビューイングを実施する団体に対しましては、
補助金による財政的支援だけでなく、組織委員会への登
録や申請にあたっての情報提供や相談・助言、実施にあ
たっての広報など、市としましても積極的にサポートを行
うことで、全市一体となってオリンピックを盛り上げてまい
ります。

以 上

(白畑教育次長答弁)

辻議員 1010 作成部局 教育委員会 No.1

質疑要旨 サポートランナーの募集について具体的にどの
のように子どもたちや保護者に情報を届けたのか。

答弁要旨

サポートランナーの募集につきましては、市報あまがさ
き3月号及び本市のホームページにおいて周知を図って
おります。

以上

(白畑教育次長答弁)

辻議員 1011

作成部局 教育委員会 No.1

質疑要旨 サポートランナーは各学年3人程度は選ばれるということで間違いないか。

答弁要旨

サポートランナーにつきましては、市内在住の小学生20人とだけ定めており、学年ごとの定員は設けておりません。そのため、必ずしも各学年から3人程度が選ばれるものではございませんが、一定のバランスは考慮していきたいと考えております。

以上

(白畑教育次長答弁)

辻議員 1012

作成部局 教育委員会 No.1

質疑要旨 現時点において申込をしている小学生は何人か。学年別・地区別に教えてほしい。

答弁要旨

3月16日現在の申込者数は、35人でございます。

学年別の内訳は、1年生1人、2年生9人、3年生5人、4年生7人、5年生7人、6年生6人でございます。

また、地区別の内訳は、中央地区3人、小田地区14人、大庄地区1人、立花地区2人、武庫地区11人、園田地区4人でございます。

以上

(白畑教育次長答弁)

辻議員 1013 作成部局 教育委員会 No.1

質疑要旨 現時点での申込人数についてどのように受け止めているのか。改めて周知する必要はないか、市の考えを聞かせてほしい。

答弁要旨

新型コロナウイルスの感染拡大による休校措置により、子ども間、保護者間のクチコミの機会が減少したことが、申込人数にも影響していると思われませんが、既に定員に達していますことから、改めて子どもや保護者に周知を行う考えはございません。

以上

(白畑教育次長答弁)

辻議員 1014

作成部局 教育委員会 No.1

質疑要旨 昨年11月20日から始まっている大会ボランティアの募集について掲載されていない理由を聞かせてほしい。

答弁要旨

ワールドマスタースゲームズ 2021 関西の大会ボランティアの募集につきましては、本市のホームページに大会トップページのリンクを貼ることで、市民への周知を図ってまいりましたが、今後は見出しを設けるなど、わかりやすく工夫してまいります。

以上

(白畑教育次長答弁)

辻議員 1015

作成部局 教育委員会 No.1

質疑要旨 市の取組の結果、どの程度の市民の方が大会の開催やエントリー、ボランティアの募集について知っていると思うか。

答弁要旨

ワールドマスタースゲームズ 2021 関西の市民の認知度につきましては、昨年の1月の調査では約11%と低く、現時点においても十分であるとは考えておりません。しかしながら、2月に大会参加のエントリーも始まりましたことから、多くの市民が参加するよう、今後とも、積極的に大会の周知を図ってまいりたいと考えております。

以上

(白畑教育次長答弁)

辻議員 1016

作成部局 教育委員会 No.1

質疑要旨 ワールドマスタースズゲームズ 2021 関西について、市のホームページへの掲載や庁舎へのポスターなどの掲示以外に、市が積極的に取り組んだこと、今後取り組もうとしていることについて聞かせてほしい。

答弁要旨

ワールドマスタースズゲームズ 2021 関西についての情報発信につきましては、市のホームページへの掲載や本庁舎へのポスター・懸垂幕などの掲示以外には、市民まつりやスポーツのまち尼崎フェスティバルでのパネル展示、各地区体育館などへの PR パンプの設置などを行っております。

また、昨年 10 月には、本市で開催される水球、アーティスティックスイミングの会場である尼崎スポーツの森でプレイベントを開催し、横断幕やのぼりの設置を行っております。

今後も継続して様々な機会をとらえて大会の周知を行い、機運の醸成を図ってまいります。

以上

(白畑教育次長答弁)

辻議員 1017 作成部局 教育委員会 No.1

質疑要旨 令和3年度ではなく、令和2年度に予算を計上する必要はないか。

答弁要旨

競技への参加エントリーやボランティアの募集にかかる必要な経費につきましては、兵庫県実行委員会で計上されておりますことから、本市で予算計上する考えはございません。

以上

(白畑教育次長答弁)

辻議員 1018

作成部局 教育委員会 No.1

質疑要旨 実行委員会の経費に市独自の予算を上乗せし、「スポーツのまち」を掲げる市の姿勢を示すべきではないか。

答弁要旨

令和2年度におきましては、兵庫県実行委員会からの助成金を活用して、大会の市民への周知を図り、市民参加を促してまいりたいと考えておりますが、大会が実施される令和3年度におきましては、水球とアーティスティックスイミングの競技の開催市として、助成金に加えて、大会を実施するための必要な予算の計上を検討してまいります。

以上

質疑要旨 第1回目の中学校給食を、多くの市内産の食材を使って記念給食とする考えはあるか。

[答弁要旨]

令和4年1月から開始予定の中学校給食は、給食センター方式という新たな給食の提供方式で、日々、約1万1千食の給食を限られた時間内に安全に調理し、各中学校へ安定的に配送していく必要があるほか、中学校においても、給食の準備や配膳に慣れるまでに一定の期間が必要であると考えております。

そのため、給食の開始当初は、給食を計画的に確実に提供することを最優先に取り組むこととしているほか、使用する食材の収穫時期との関係もございますことから、ご指摘のような、多くの市内産の食材を使用した献立を第1回目の給食として調理することまでは考えておりません。

(次ページへ続く)

しかしながら、学校給食におきまして、市内産の食材を使用することは、教育的効果においても重要であると認識していることから、できるだけ早期に、市内産の食材を取り入れた給食を提供できるよう、取り組みを進めてまいります。

以 上

辻議員 1020 作成部局 教育委員会 No.1

質疑要旨 給食センターに根菜類を適切に保管できる
スペースを確保していくことはできないのか。

[答弁要旨]

学校給食の実施につきましては、国の定める「学校給食衛生管理基準」を遵守し、安全で安心な給食調理を行う必要がございます。

学校給食衛生管理基準におきましては、「生鮮食品は、原則として当日搬入するとともに、一回で使い切る量を購入すること。また、当日搬入できない場合には、冷蔵庫等で適切に温度管理するなど衛生管理に留意すること。」といった旨が定められており、中学校給食の実施にあたりましても、根菜類等の生鮮食品につきましては、一回の給食で必要な量を購入し、一時的に冷蔵保管し、翌日に全て調理することを基本としており、そのために必要な保存庫を整備することとしたものであります。

学校給食において、根菜類を一定数・一定期間保管することは食材の品質管理上、課題があることから、本市の給食センターでは、ご指摘のような保管スペースを設けることは難しいものと考えております。 (以 上)

＜白畑教育次長答弁＞

辻議員 1021

作成部局 教育委員会 No.1

質疑要旨 定期的に学校給食で多くの市内産の食材を使っていけるよう、経済環境局と連携して市内の農業者に協力を求める考えは教育委員会事務局にあるか。

[答弁要旨]

市内産の食材を給食に活用するためには、「一定量を安定して集荷するための供給ルートの確保」と、「安価での調達」が課題であると認識しております。

そのため、これまで小学校給食において、使用する市内産の食材の供給量が十分ではないことから、中学校給食において、直ちに定期的に市内産の食材を取り入れることは、現状では難しいものと考えております。

しかしながら、市内産の食材を中学校給食で使用することは、生徒が地域の産業や食文化を理解し、地域の生産者の努力やその食物への感謝の気持ちを抱かせたりするなどの教育的効果が高いものと考えておりますことから、安価で安定した供給ルートの在り方について、経済環境局と連携するとともに、関係者の意見も踏まえながら、検討を進めてまいります。 (以 上)

質疑要旨 市内の農業者の意見を積極的に聞き、学校給食を活用して、市内の農業振興・農地保全に努めるという考えはあるか。

答弁要旨

市制 100 周年の小学校での記念給食では、市内の農業者から尼いもなど市内産の野菜やお米の提供について多大なご協力をいただき実施したほか、供給量の関係で定期的に提供することは困難ではございますが、現在でも市内産の野菜が小学校給食の食材として一部提供されているところでございます。

一方、中学校給食におきましても、直ちに定期的に市内産の食材を取り入れることは現状では難しいものではございますが、安価で安定した供給ルートのあり方について、市内の農業者のご意見を踏まえながら、教育委員会と連携し、できるだけ早期の実施に向けた取り組みを進めるとともに、今後とも農業振興・農地保全に努めてまいりたいと考えております。

以上